

KiKiの広場

2017年 4月 1日

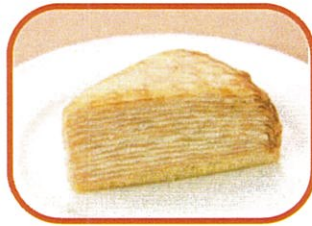
cafe NO.78
KiKi



ジェットコースターのように上がったりがつたりりの3月のお天気でした。そのせいか、いつもなら満開の真締川の桜もまだ蕾の状態です。考えてみると、満開の美しさを見る喜びは格別ですが、桜の開花を今か今かと待つというのも、何だかウキウキして楽しいなあと思います。日々の生活の中で、『待つ』ことはたくさんあります。同じように待っていても、心に余裕がない時はイライラして、見る景色が変わってしまうこともあります。そんな時ちょっと深呼吸して、穏やかな気持ちでいろいろなことが待てるようになりたいなあと思います。

4月の予定

休館日	11日(火)
定休日	毎土・日曜日



「今月のケーキ」……「ミルクレーフ」 350円

1枚1枚丁寧に焼き上げたクレープ生地と、自家製カスタードクリームと北海道産生クリームを合わせたダブルクリームを15層に重ね、天面にナパージュを塗って仕上げた、定番人気のミルクレーフです。

今月のお気に入り…「春に読みたい絵本」

～「春」「春のわかれ」「サラダとまほうのおみせ」「とんことい」「わたしとあそんで」「春の主演 桜」「はじめまして」など～



「春」の作者は五味太郎さんです。窓の外を通っていくいろいろな春。春の暖かさがほのぼのと伝わってくる絵本です。家の中になんかいられないと、思わず外に飛び出して行きたくなります。「春のわかれ」の作者は、作家・古典医学研究家の槇佐知子さん、絵は赤羽末吉さんです。「今は昔、村上帝の御代のことでございます。」の一文から始まるこのお話は、今昔物語がもとになっています。1人の若者がその優しさゆえに、実の父親から思いもよらぬ辛く悲しい仕打ちを受けます。それでもその若者が命をかけて貫いた優しさに、最後は父親も自分のしたことを後悔し心から詫言います。美しい日本語と赤羽さんの絵に一気に惹き込まれ人間の愚かさ、弱さ、はかなさ、そして強さを考えさせられる、切なくも優しさにあふれた絵本です。



今月の本欄…「野菜の絵本」

～「おやおやおやさい」「忍者にんにく丸」「サラダでげんき」「あしにょきにょき」「キャベツくん」「やさいのおなか」など～



今や1年中殆どの野菜を食べることができますが、旬の春野菜はというと野菜の色が生き生きとして、いかにも美味しそうなイメージがあります。そこで今回は野菜特集です。「おやおやおやさい」は、山村浩二さんの描くかわいくてみずみずしい野菜たちが繰り広げるマラソン大会と、石津ちひろさんのリズムカルな言葉遊びとがマッチして、とっても楽しい絵本です。さあ、1等賞は誰でしょう？「忍者にんにく丸」は、落語絵本の川端誠さん作の痛快時代劇です。敵の忍者強力麵蔵との迫力満点の戦いでは、にんにく丸の必殺技がさく裂！これは野菜忍列伝其の一で、其の二「あっぱれアスパラ郎(オ)」、其の三「なすの与太郎」、其の四「怪僧タマネギ坊」と続き、其の五「風雲しょうが丸」まであります。登場人物(?)のネーミングが絶妙で、奇想天外なストーリーとだじゃれ満載の愉快的な絵本です。



ほっとフレイク

胡蝶蘭その3…2か月前、茎と蕾だけの寂しい胡蝶蘭でしたが、今では12個の花が咲いています。ついていた小さな蕾も全て花開きました。この花たちは真ん中の茎から伸びたものですが、両サイドの茎の先は枯れていたもので、途中を切っていました。すると、今両サイドの茎からまた新しい茎が伸びはじめています。さて、どうなることやら…。オープン当初からエントランスには、幾度となく胡蝶蘭の鉢が飾られましたが、全て花が枯れたら終わりでした。この胡蝶蘭が特別なのか、もしかしたらこれまでの胡蝶蘭も同じような状態だったのに、私たちが気付かなかっただけで、可哀そうなことをいっぱいしてきたのかもしれない。花だけでなく周りに対しても、気付かなかっただけで見過ごしていることがたくさんあるのではないかと、改めて気をつけなくてはと思いました。